

万行遺跡

国指定史跡



「能登立國1300年」
能登の國府は
七尾にあり
養老2年(718)能登國誕生

万行遺跡の概要

国指定史跡
万行遺跡
【指定年月日】平成15年8月27日(文部省告示第137号)
【所在地】七尾市万行地区土地区画整理事業地 仮換地番57街区 5号公園
【面積】22,872.00m²

【所有者】七尾市
【指定理由】ア基準 特別史跡名勝天然記念物指定基準(昭和26年文化財保護審議会告示第2号)史跡の一部による。

●JR利用 東京から北陸新幹線「かがやき」を利用で……約3時間30分
大阪から特急「サンダーバード」直通利用で……約3時間20分
名古屋から特急「しらさぎ」で金沢乗り換え・特急「能登かがり火」
金沢から特急「能登かがり火」利用……約4時間
車で約4km

●公共交通機関利用 市内循環バス「まりん号」片道約7分→万行町桜台団地バス停から徒歩5分
市内事情により遡る場合があります。
行き→七尾城ルート逆回り：JR七尾駅→万行町桜台団地 [9~16時台 26分券]発
く帰り→七尾城ルート順回り：万行町桜台団地→ミナクル [9~16時台 20分券]

問い合わせ先 七尾市教育委員会文化課(平成30年4月1日からスポーツ・文化課)
〒926-8611 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
TEL: 0767-53-8437 FAX: 0767-52-5194
E-mail: sportsbunka@city.nanao.lg.jp

※本パンフレットは、文化庁の平成29年度国宝重要文化財等保存整備費補助金を受け成したもので。
発行日／平成30年3月30日

古墳時代前期初頭の、これまでに例のない規模の大型掘立柱建物と方形区画が検出された。建物は倉庫説とがあるが、こうした建物存在は、能登地域を超えた政治勢力の関与も示唆している。古墳時代の政治状況を知るうえで重要なだけでなく、建築史的にも貴重である。

イ 説明

能登半島の付け根、七尾湾に面した台地に所在する。古墳時代前期初頭の、これまでに例のない規模の大型掘立柱建物と方形区画が検出された。建物は倉庫説と祭殿説とがあるが、こうした建物存在は、能登地域を超えた政治勢力の関与も示唆している。古墳時代の政治状況を知るうえで重要なだけでなく、建築史的にも貴重である。



史跡万行遺跡復元イメージ(南東から) (北野陽子画)

万行遺跡周辺図



現地案内板あります

●七尾駅から タクシー車で約10分
R160、新屋町、越えて、岡田胃腸科クリニックを右折
万行遺跡看板

竹垣の里

須曾賀夷穴古墳

万行地域には、風雪を防ぐ革を縫いでいる。

「竹」で美しく染められています。

能登国分寺跡

七尾市内国史跡位置図

のど里山里海ミュージアム(H30.10月オープン)

七尾城跡

七尾市内国史跡位置図

七尾市内国史跡位置図

七尾市内国史跡位置図

七尾市内国史跡位置図

七尾市内国史跡位置図

七尾市内国史跡位置図